

まゆずみ眼科医院

●日帰り白内障手術
●神経眼科
●ドライアイ
●コンタクトレンズ

診療時間
午前 8:45~12:30
午後 15:00~18:00
休診日
木曜日・日曜・祝祭日

初診・再診ともに電話での予約可能 ☎027-388-8461

高崎市日高町403-2
旧道(旧高前線)信号「日高南」を西へ



やきもち地藏尊



常楽寺



日限り地藏尊

「やきもち地藏尊」の名前の由来
ちょうど20年前である。まだ私がタウン誌の編集者をしてた頃のこと。「おかしなお地藏さんがいる」との情報を受けて、館林市へ向かったことがあった。なんと、そのお地藏さんは周囲を頑丈な木の柵に囲まれ、監禁されていたのである。なぜ、こんなお姿になってしまったのか？ 今回、その謎を検証すべく、再度訪ねてきた。

説がある。
この男地藏さん、こともあろうが50メートル北にある女地藏に恋をしてしまったのである。それだけならまだしも、夜な夜な矢場川沿いの土手伝いに、遊びに行くようになってしまった。
「地藏の夜ばいなんて聞いたことがない」と、住職をはじめとする寺の世話人たちは大いに立腹し、ついには二度と会いに行けないようにと、地藏の周囲に木の柵を作り、外出を阻止してしまったのである。それ以降、夜遊びはなくなったので、団子や焼き餅をあげて供養したとのことだ。

焼き餅を供えてお参りするようになったともいわれている。
恋の願い事がかなう色地藏
お地藏さまといえ、ふつう寺の境内や路傍に置かれた小さな立像を思い浮かべるが、このお地藏さまは台座の上に座っている。しかも身の丈2〜3メートルはありそうな巨体で、粹に片膝を立てている。なぜ、こんなポーズをとっているのか？
解釈は色々あるようだが、いつでも立ち上がって救いに向かう準備をしている姿とも、困っている者に寄り添って考え続ける姿ともいわれている。改めてお顔を拝見すると、実に柔和でやさしいお顔をしている。しかも、かなりのイケメンだ。女地藏にモテるのも無理はない。さぞかし地藏界のドンファンとして、浮世を流したことだろう。

から、さぞかしイケメンに違いない。
栃木県境を流れる矢場川に架かる落合橋のもとに深諦寺はあった。応永2(1395)年開山の古刹である。
常楽寺の男地藏が恋をした女地藏は、境内の片隅にひっそりと鎮座していた。彼女の名前は「日限り地藏尊」という。どんな疫病でも、恋の願い事でも日を限ってお願いと、必ずかなうらしい。が、地元では俗称で「色地藏」とも「エロ地藏」とも呼ばれている。これまた、なんと俗っぽいお地藏さまである。
どれほどの美人なのかと、お顔を覗き込んだ。ん、私にはふつうの石仏にしか見えない。右手を頬に当て、首をかしげている如意輪観音像である。

ここで一つ、疑問が生じた。そもそも地藏や観音に男女の性別があるのだろうか？ いや、ないはずである。ならば男地藏も女地藏も存在しない。勝手に夜ばいと決めつけられ、夜遊びが過ると責められて、はては台座ごと牢屋に監禁されてしまった「やきもち地藏尊」は、人間たちの煩惱により捕らわれた被害者である。冤罪が解かれる日は来るのだろうか？ 謎学の旅はつづく。
(フリーライター/小暮 淳)



矢場川

A CHORUS LINE

一人ひとりの人生に、
一つひとつの輝きがある。

Conceived and Originally Directed and Choreographed by
Michael Bennett
Book by **James Kirkwood & Nicholas Dante**
Music by **Marvin Hamlisch**
Lyrics by **Edward Kleban**
Original Scenery by **Robin Wagner**
Original Costumes by **Theoni V. Aldredge**
Original Lighting by **Tharon Musser**
ORIGINAL DIRECTION AND CHOREOGRAPHY RESTAGED BY
Keita Asari
Original Broadway production produced by the New York Shakespeare Festival, Joseph Papp, Producer, in association with Plum Productions, Inc.
A CHORUS LINE is presented by arrangement with Concord Theatricals on behalf of Tams-Witmark LLC. www.concordtheatricals.com

演出:マイケル・ベネット/初演日本版演出:浅利慶太

劇団四季が贈る不朽の名作が、あなたの街へ！

2026年11月28日(土) 開演17:30 (開場16:45)
29日(日) 開演13:00 (開場12:15)

高崎芸術劇場 大劇場

9月18日(金)10時からWeb先行発売開始!

チケット料金 (税込・全席指定)	S席 11,000円
	A席 9,000円
	B席 6,000円

※公演当日3歳以上有料(膝上鑑賞不可)/3歳未満入場不可

【主催】上毛新聞社/劇団四季
【共催】高崎芸術劇場(公益財団法人 高崎財団)
【お問い合わせ】劇団四季 全国営業部 TEL:0570-008-110

《Web先行》9月18日(金) 10:00~

■高崎芸術劇場メンバー限定[登録無料]

9月19日(土) 10:00~

■高崎芸術劇場チケットセンター
Tel.027-321-3900 (10:00~18:00)

9月20日(日) 10:00~

■高崎芸術劇場2Fチケットカウンター(10:00~18:00)
■ほか高崎市内9か所の高崎市施設プレイガイド
※電話発売で完売した場合は、窓口販売はございません

高崎芸術劇場
TAKASAKI CITY THEATRE
JR高崎駅東口から徒歩5分 ☎370-0841 高崎市栄町9-1